

本プロジェクトは経済産業省の  
「農商工連携等による被災地等復興支援事業」に  
採択された事業です。

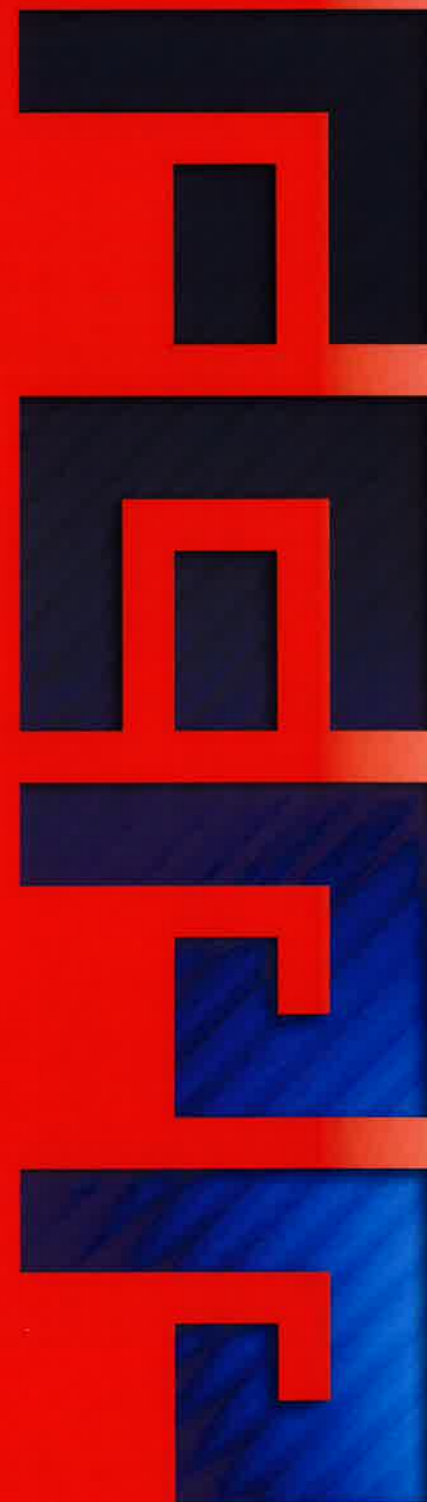


Fukushima Emergency Power Project  
福島緊急時電源プロジェクト

□【事務局】シーアイエー株式会社  
〒960-0719 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地 90-1  
TEL: 024-577-7666 FAX: 024-577-7676

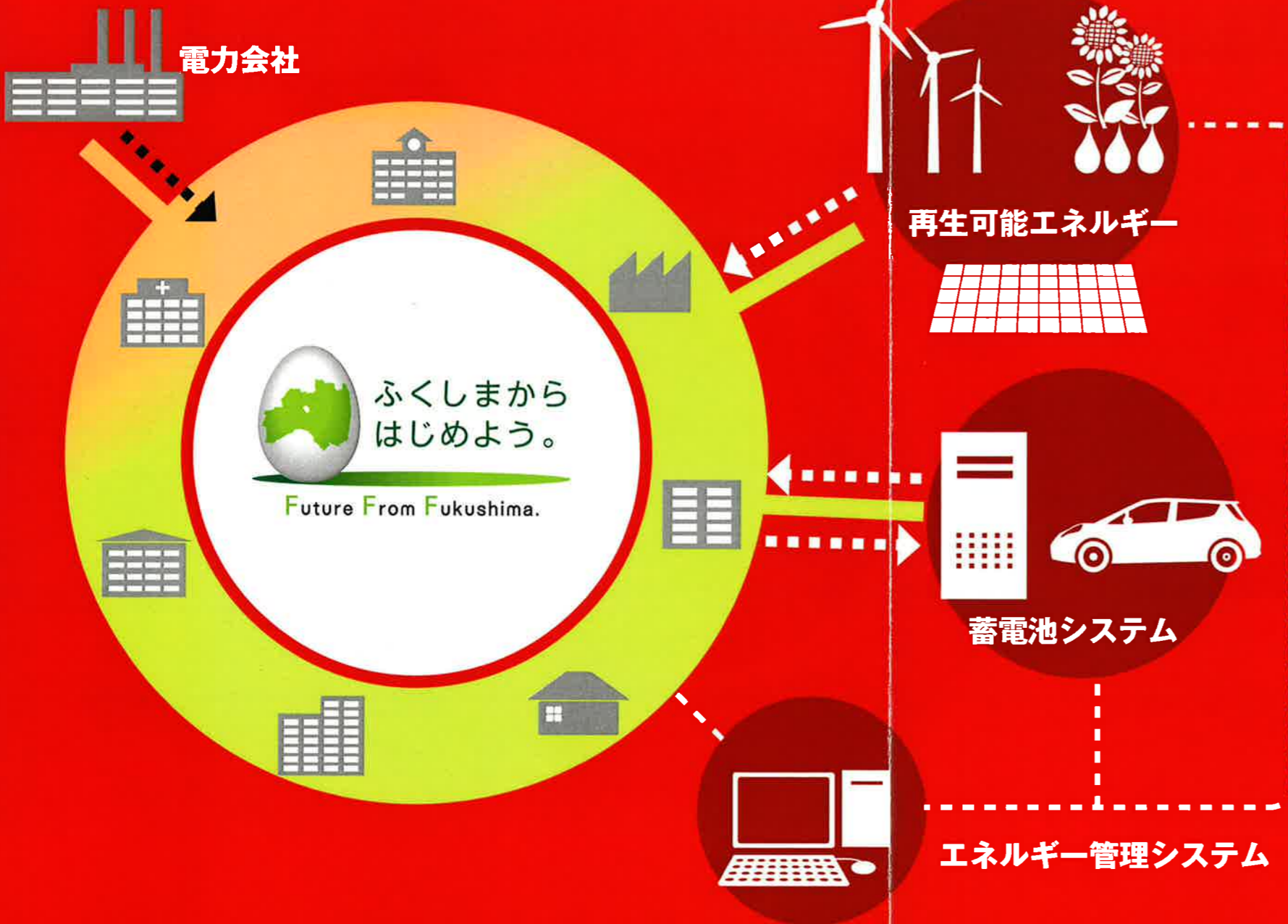
□菊池電設工業株式会社  
〒969-1603 福島県伊達郡桑折町字上町 35-1  
TEL: 024-582-3202 FAX: 024-582-3267

Fukushima Emergency Power Project



# エネルギー管理システムが 再生可能エネルギー 100%への第一歩です。

非常時にも十分対応でき、地球環境にも優しい新たな電力供給モデルを創ることが、3.11の震災を経験した私たちの解決すべき課題です。福島県内各工業団地向けに、「再生可能エネルギー（太陽光発電など）」システムを開発し、災害等非常時のOA機器用電源供給を可能にすると共に、工業団地内の消費電力をリアルタイムに計測・予測するトータル監視システムを開発し、管理することで、平時の企業の省エネ化・コスト削減を可能となります。



## エネルギーの自給自足、地産地消がFEPPの理想です。

エネルギーを自分で作り出して、自分で消費することが、本来とても自然なことだと思います。再生可能エネルギーが急速に拡大している今、電力はさまざまな方法で得ることができます。大げさに考えなければ実現できないことはありません。すぐには無理でも、自分たちに必要な電力をすこしでもつくっていくことが、大事ではないでしょうか。



## 創エネ

太陽光発電や風力や水力による発電、バイオマス燃料によるディーゼル発電などを利用して、電力会社に頼らないエネルギーを作り出していきます。

## 蓄エネ

再生可能エネルギーや低コストの深夜電力などを、リチウムイオン蓄電池システムや日産リーフなどの電気自動車を利用して、効率的に蓄えます。

## 省エネ

消費電力の少ない蛍光灯「CCFL」をはじめ、電動スクーターなど、省エネにつながる提案をします。

## エネルギー管理

作り出したエネルギーと蓄えたエネルギーをスマートに管理して、電力コストの低減につなげます。

「FEPP」は緊急時の電源確保と  
平時の効率的なエネルギー管理を提案します。

太陽光発電や風力発電などでエネルギーを創る「創エネ」、必要以上に創ったエネルギーを蓄電池で蓄える「蓄エネ」。これらをスマートに組み合わせることで電力会社から送電される電力をできる限り使わないようにする「エネルギー管理システム」。震災を機に大切だと実感した電気エネルギーの確保。停電などの非常時にも電気を供給し続けられ、電力コストの低減にも役立ちます。